

# 平郡島

来てみんさい!

島の観光マップ付

DATA

- 人口/368人(男169人、女199人) ●世帯数/263
- 面積/16.56km<sup>2</sup> ●平成28年1月末 ●標高/15.6m
- 平郡島を囲む柳井市は、年間日照時間が全国でもトップクラス。
- 平郡島の気候は、年間日照時間が全国でもトップクラス。
- 平郡島の気候は、年間日照時間が全国でもトップクラス。

旅行/平郡島地区コミュニティ協議会 Tel.0820-47-2211

●平成28年2月時点の観光マップを作成しました。

## 平郡島とは？

奈良島の平城宮跡で出土した木簡に、平郡島の記述が記されています。木簡によると、「天平勝宝5年(753)9月、周防国大島郡平郡島」とあり、平郡島は、千年以上の昔、奈良時代以来の歴史を誇る島なのです。

## 歴史

### 働き者の島

昔、火山だったこの島には平地はほとんどなく、山がいきなり突き出たような形です。このわずかな平地(東地区と西地区)に、最も多い時期(昭和20年代)には、4,000人近くが、寄り添って暮らしていました。

急峻な斜面で芋を作り、「芋ばかり食べて、酒も自家製の芋焼酎じゃった」と島の古者、その労働は過酷を極め、いつの間にか島の半(平郡牛)は、足の短い体型に変わってしまったほどです。

また、周囲の海はたいへん豊かな漁場、イサナ漁が盛んに行なわれ、子ども手伝いで魚を獲り出されて、島民は出で立って生産していました。農業も漁業も大変な仕事。だから、島外へ移り住んだ人たちは、周りが驚くほどの「働き者」と評されたといわれています。

昭和30年代には、山の頂上付近まで畑が広がり、サツマイモが栽培されていた。海ではイサナ漁が盛んだった。

## サツマイモとみかんの島

瀬戸内海の温暖な気候により、温州みかんの栽培が盛んです。耕作地の約半分を柑橘類が占めています。また、昭和40年代頃まで盛んだったサツマイモの栽培が近年、復活しました。昔、平郡島のサツマイモは特別に甘くて美味しさと市場では高値がついていました。サツマイモの耕作地は年々広がっています。

その成果として、島のサツマイモを原料に芋焼酎「平郡」を商品開発。毎年、売り切れてしまうほどの人気商品に成長しています。さらに、サツマイモのスタック菓子なども発売されています。

「平郡」

## 島の食事処

漁師を兼業する料理人による土日限定の食事処が「島島」です。平郡島で獲れた美味しい魚介をふんだんに使い、シェフ(ドイツのレストラン)として磨いた腕を振ります。

●島島:しましま(平郡東) Tel.080-8234-0815(土部) 営業/土(日)11:30~14:30/夜18:00~22:00) メニュー/日替わり定食 (昼1,000円/夜1,500円) ※要予約。電話は、日中は休みのため、夕方以降がおすすめです。

## 島の宿泊

平郡島の東地区と西地区に一つずつ宿泊施設があります。どちらも静かなロケーションで、平郡島の海が味わえる食事も魅力です。お気軽にお問い合わせください。

●民宿大野屋(平郡東) Tel.0820-47-2237 ●小林旅館(平郡西) Tel.0820-47-2811

## 平郡島へ移住しませんか？

### 「お試し住宅」で暮らしてみる

島の生活を知るなら、暮らしを試みるのが一番です。農業や漁業、地域活動などに参加したり、これを通じて島民と触れ合ったり、島での仕事探し、住居探しも活用いただけます。

### 住宅のご紹介(場所/平郡東港から徒歩3分)

●設備/水道(簡易水道)、キッチン(電磁調理器)、風呂(給湯器)、洋式トイレ(暖房水洗)、駐車場(2台)、ペット可(不可)、その他/冷蔵庫・洗濯機などの家電製品、食器類など ●費用/7日単位で、15,000円 ※8日目は追加料、2,000円/日の追加 ●期間/1ヶ月間まで

【対象者】 平郡島へのリターンや移住を検討している方

【入居までの流れ】 まずはお気軽にお問い合わせください。なお、短期間ですが申込書の提出、及び賃貸借契約を含む入居手続きが必要です。

お問い合わせ/貸主/平郡東地区コミュニティ協議会 Tel.0820-47-2211 Fax.0820-47-2212

## 「空き家バンク」で家探し

柳井市には、「空き家バンク制度」があります。ホームページにて、借り手を募集している物件を閲覧することができます。平郡島の物件もいくつかありますので、ぜひご覧ください。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先/柳井市役所 地域づくり推進課 Tel.0820-22-2111 Fax.0820-23-4595

### どんな仕事があるの？

農業、漁業、畜産等の一次産業の他、インターネット環境を活用した仕事も可能性が広がります。また、デイサービスセンターや農協等でも、随時、職員を募集しています。

### 地域おこし協力隊

国によって創設されたこの制度を活用して、平郡島でも隊員が活躍しています。隊員が伝える島の暮らしは、Facebook等でご覧いただけます。

●Facebook「物語が始まる島 平郡島」 https://www.facebook.com/heigunstory ●ブログ「物語が始まる島 平郡島」 http://ameblo.jp/heigunstory

### 移住の支援制度

●空き家改修補助 ●合併浄化槽設置補助 ●農業・漁業関係の指導サポート

## 暮らしの環境

### 【教育】

小学校:平郡東小学校が平成24年に再開校し、児童数4人(H28.2)。平郡西小学校は休校中。

中学校:島外への通学になります。通学費には柳井市の補助制度があります。柳井市立中学校への通学者は名(H28.2)。

高等学校:島外への通学、または寮やアパートでの生活になります。

### 【図書館・保育園】

島にはありませんが、ご近所の方が子育てに協力し、見守りなども行っています。

図書館:島外にある柳井図書館の蔵書の貸出と返却が島内で行なえ、たくさんの方が利用しています。

### 【ライフライン】

上水道は、平郡東それぞれに簡易水道があります。下水道はありません。合併浄化槽が簡易水洗、汲み取りになります。電気は、全戸で使用可能。ガスはプロパンガスになります。

### 【医療・福祉】

一般診療所が平郡東と西にそれぞれあり、医師・看護師もそれぞれに在籍しています。東は火曜日と金曜日、西は月曜日と木曜日に開所しています。緊急時は状況に応じて救急船やドクターヘリにより、島外の総合病院へ搬送となります。また、島外の柳井市内には総合病院や眼科、歯科が充実しており、通院することもできます。

高齢者福祉施設には、平郡デイサービスセンターが東地区にあります。西地区からは車で送迎。

### 【買物】

日常のお買物は島内の以下の商店が便利です。これらにない商品については、柳井市中心街が便利です。柳井市中心街は様々な業種・業態が集まる商業地です。

●東地区  
JA南すおう平郡支店/東店/0820-47-2121  
羽根酒店/0820-47-2030

●西地区  
JA南すおう平郡支店/西店/0820-47-2131  
原田ナナム商店/0820-47-2239  
原田富江商店/0820-47-2621

### 【携帯電話】

会社によって通話可能エリアが異なります。平郡東:docomo, au(一部), softbank(一部) 平郡西:docomo, au(一部), softbank(一部)

### 【インターネット】

無線通信(携帯電話のデジタリング含む)のみ。平郡東:WIMAX, docomo LTE, softbank 4G+ 4G LTE 平郡西:3G

# 平郡島 来てみんさい! まっぷ

平郡島には懐かしい景色がいっぱい! そして、温かな島人たちと猫たちの暮らしがあります。

ボランティアガイドを希望される場合は、平郡東公民館へお問い合わせください。 Tel.0820-47-2211

## 西地区 WEST AREA

1 葉たばこ乾燥塔 かつては葉たばこが盛んに栽培されていました。現在は乾燥塔だけが残っています。

2 大師堂 毎月21日には、般若心経を読み、汁とご飯と漬物のお供えが行われます。

3 石風呂と負上之石 石風呂は戦前まで使われていました。負上之石は自力で上げた石とされています。

4 円寿寺(浄土宗) 1871(明治4)年、寺院整理により、円福寺と有恩寺が合併してできたお寺です。阿彌陀様がまつられ寺内には観音菩薩、勢至菩薩が祀られています。

5 魚船供養塔 円寿寺の境内にあります。島の漁師たちにより、1772(明和9)年に建立されました。(市指定有形民俗文化財)

6 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

7 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

8 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

9 蛇の池(平郡三景) 海と数メートルしか離れていないのに、池の水は淡水という不思議な池です。

10 赤石神社 神社後方にある赤くて大きな岩が御神体です。腰から下の病なら、岩に手を触れればと回廊すると言われます。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

11 大塚(平郡三景) 羽仁地区の背後、標高271mの巨大な立岩に「千段敷」と呼ばれる広い斜面があります。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

12 大塚(平郡三景) 羽仁地区の背後、標高271mの巨大な立岩に「千段敷」と呼ばれる広い斜面があります。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

13 三嶋大明神 潮が引けば、三島を渡り、お参りすることができる神社です。

14 五十谷海水浴場 美しい海に三つの小島が連なる景色が見事。潮が引くと小島へ歩いて渡ることができます。

15 五十谷三島(平郡三景) 美しい海に三つの小島が連なる景色が見事。潮が引くと小島へ歩いて渡ることができます。

16 三嶋大明神 潮が引けば、三島を渡り、お参りすることができる神社です。

17 真俱様 2基の石を御神体とする。1体は熊野神の新宮明神、もう1体は海軍復興のときに戦って犠牲となった鈴木又五郎真俱を祀ったといわれます。ここにはヤブツケ、エノキ群落(やないの名木)があります。

18 海蔵院(曹洞宗) 伊予の豪族・河野氏の一族、浅海宗空が14世紀前半、平郡島に創建。1871(明治4)年の寺院整理により、東の円福寺跡に引寄せられました。境内には日蓮宗270cmのソテツ(市天然記念物)とケヤキの大木(やないの名木)があります。代々庄屋を務めた鈴木家の墓には17穴の墓穴があります。

19 海蔵院(曹洞宗) 伊予の豪族・河野氏の一族、浅海宗空が14世紀前半、平郡島に創建。1871(明治4)年の寺院整理により、東の円福寺跡に引寄せられました。境内には日蓮宗270cmのソテツ(市天然記念物)とケヤキの大木(やないの名木)があります。代々庄屋を務めた鈴木家の墓には17穴の墓穴があります。

20 役行者像 平郡島の敷地内にお堂があります。1617(元和23)年、庄屋・鈴木氏より興られたと伝えられています。境内には築山があります。境内には築山があります。

21 浄光寺(浄土真宗) 天文年中(1532~1554年)に大内氏の臣・神代氏神領により開かれたと伝えられます。境内に築山があります。境内には築山があります。

22 早田八幡宮 平郡島の氏神様で、ご祭神は神代皇孫、志保天皇、神代天皇です。祭は春祭りが3月15日、秋祭りは旧暦9月10日、秋祭りは10月9日、10日です。ウラボシケヤキノキ群落(やないの名木)があります。

23 石仏 伝説上の河童のような生き物「鰐」が人の通行を妨げるのを防ぐために、境内に石仏が建てられた。境内に石仏が建てられた。境内に石仏が建てられた。

24 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

25 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

26 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

27 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

28 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

## 東地区 EAST AREA

27 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

28 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

29 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

30 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

31 葉たばこ乾燥塔 かつては葉たばこが盛んに栽培されていました。現在は乾燥塔だけが残っています。

32 大師堂 毎月21日には、般若心経を読み、汁とご飯と漬物のお供えが行われます。

33 石風呂と負上之石 石風呂は戦前まで使われていました。負上之石は自力で上げた石とされています。

34 円寿寺(浄土宗) 1871(明治4)年、寺院整理により、円福寺と有恩寺が合併してできたお寺です。阿彌陀様がまつられ寺内には観音菩薩、勢至菩薩が祀られています。

35 魚船供養塔 円寿寺の境内にあります。島の漁師たちにより、1772(明和9)年に建立されました。(市指定有形民俗文化財)

36 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

37 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

38 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

39 蛇の池(平郡三景) 海と数メートルしか離れていないのに、池の水は淡水という不思議な池です。

40 赤石神社 神社後方にある赤くて大きな岩が御神体です。腰から下の病なら、岩に手を触れればと回廊すると言われます。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

41 大塚(平郡三景) 羽仁地区の背後、標高271mの巨大な立岩に「千段敷」と呼ばれる広い斜面があります。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

42 大塚(平郡三景) 羽仁地区の背後、標高271mの巨大な立岩に「千段敷」と呼ばれる広い斜面があります。旧暦6月10日には石祭りが行われ、多くの参拝者に賑わいます。

43 三嶋大明神 潮が引けば、三島を渡り、お参りすることができる神社です。

44 五十谷海水浴場 美しい海に三つの小島が連なる景色が見事。潮が引くと小島へ歩いて渡ることができます。

45 五十谷三島(平郡三景) 美しい海に三つの小島が連なる景色が見事。潮が引くと小島へ歩いて渡ることができます。

46 三嶋大明神 潮が引けば、三島を渡り、お参りすることができる神社です。

47 真俱様 2基の石を御神体とする。1体は熊野神の新宮明神、もう1体は海軍復興のときに戦って犠牲となった鈴木又五郎真俱を祀ったといわれます。ここにはヤブツケ、エノキ群落(やないの名木)があります。

48 海蔵院(曹洞宗) 伊予の豪族・河野氏の一族、浅海宗空が14世紀前半、平郡島に創建。1871(明治4)年の寺院整理により、東の円福寺跡に引寄せられました。境内には日蓮宗270cmのソテツ(市天然記念物)とケヤキの大木(やないの名木)があります。代々庄屋を務めた鈴木家の墓には17穴の墓穴があります。

49 海蔵院(曹洞宗) 伊予の豪族・河野氏の一族、浅海宗空が14世紀前半、平郡島に創建。1871(明治4)年の寺院整理により、東の円福寺跡に引寄せられました。境内には日蓮宗270cmのソテツ(市天然記念物)とケヤキの大木(やないの名木)があります。代々庄屋を務めた鈴木家の墓には17穴の墓穴があります。

50 役行者像 平郡島の敷地内にお堂があります。1617(元和23)年、庄屋・鈴木氏より興られたと伝えられています。境内には築山があります。境内には築山があります。

51 浄光寺(浄土真宗) 天文年中(1532~1554年)に大内氏の臣・神代氏神領により開かれたと伝えられます。境内に築山があります。境内には築山があります。

52 早田八幡宮 平郡島の氏神様で、ご祭神は神代皇孫、志保天皇、神代天皇です。祭は春祭りが3月15日、秋祭りは旧暦9月10日、秋祭りは10月9日、10日です。ウラボシケヤキノキ群落(やないの名木)があります。

53 石仏 伝説上の河童のような生き物「鰐」が人の通行を妨げるのを防ぐために、境内に石仏が建てられた。境内に石仏が建てられた。境内に石仏が建てられた。

54 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

55 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

56 詩人・宗野真真の旧家 宗野真真(本名:宗野徳兵衛、1905~1986)はハワイに生まれ、平郡島へ帰国すると、農業をしながら詩を書き、島で一生を過ごしました。「山口県詩選」「こたま」「鰐」等数々の詩作を残し、その内訳は、実に自ら出版した。また、島に暮らしながら、島の名産品を多く紹介した詩人として知られています。島にあっては、島民から「とくに」と呼ばれ親しまれていました。 ※やまぐち文学の文庫301「わたしの島」の宗野真真の伝記より

57 石風呂 頑強な石垣が特徴です。これによって、家を守っていました。

58 東宮遺舎・長井熊道の墓 1887(明治10)年の西南戦争の際、東京警視本署(現・警視庁)は土族(旧武士)を中心に警視隊という部隊を編成しました。平郡島の長井熊道は三等兵士としてこれに所属。鹿児島県での戦中に負傷し、平定3号殉難しました。

## 人の暮らし、猫の暮らし

平郡島には400人弱の島民たちの穏やかな暮らしがあります。季節の祭りや運動会、学校の行事には大人たちもいっしょに参加します。そして、たくさん猫たちが暮らしています。

●写真提供/柳井市役所 平郡東公民館、農業委員会、土部元元、古本幸美、株式会社くんとん、平成28年2月時点の観光マップを作成しました。